



最初に
ご確認ください。

セ
彩内ア
マニ

マウス本体	1台
ドライバディスク(8cmCD)	1枚
変換アダプタ(USB-PS/2)	1個
取扱説明書	1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)を
ご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

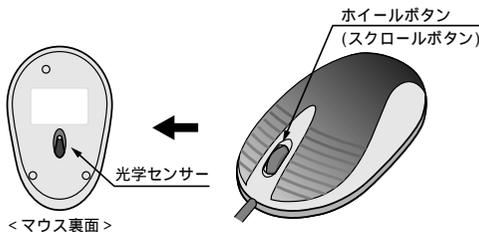
サンワサプライ株式会社

目次

1	目次
2	はじめに(特長、スクロールについて)
3	警告 対応機種 接続する前に必ずお読みください
6	マウスの接続
8	ソフトウェアのインストール
10	マウスの使用方法
11	ホイールボタン(スクロールボタン)の使用法
13	Mouse Suite 2002のコントロールパネル
14	マウスプロパティのタブ
16	ダブルクリック
16	方向
17	ホイール
19	ポインタユーティリティ
20	Mouse Suite 2000
21	テクニカルサポート
22	Mouse Power(マウスパワー)のコントロールパネル(Mac OS用)

はじめに

この度は、ウィザードをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、ボールを使わない光学方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。本製品は、マウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロールが行えるようになります。ホイールボタンにハイパーグリッド、ハイパーリンク、拡大鏡などの各種コマンドやMS-Excel、MS-Wordなどのアプリケーションソフトを割り付けることができ、大変便利です。ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。



注意 パソコンを立ち上げた際、マウス裏面のLEDが3回発光しますのでその間はマウスを動かさないでください。

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。**注意** 本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

対応機種

各社DOS/Vパソコン 及び Apple iMac・iBook・G4/G3(Mac OS 8.6以降)シリーズ(USBポート(Aタイプコネクタ)もしくはPS/2マウスポート(ミニDIN6pin)を持ち、8cmCDが使用できる機種)
対応OS
USB : Windows XP・2000・Me・98SE・98及び Mac OS 8.6以降(Mac OSは、OS標準ドライバで、スクロール対応アプリケーションのみスクロール対応可能)
PS/2 : Windows XP・2000・Me・98SE・98・95・NT4.0(SP3以降)
一部のノートパソコンには、USB接続のみ対応しています。

接続する前に必ずお読みください

本製品をUSBポート接続する際の注意(USB接続の場合)

本製品はWindows Me/98等において自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。

USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。



BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合(USB接続の場合)

BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

接続する前に必ずお読みください。(続き)

内蔵ポインティングデバイスの切り離し

< USB接続の場合 >

本製品添付のドライバは各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス(タッチパッド等)用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバをインストールしないでお使いください。各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
デバイスマネージャ マウスで「NXPAD」あるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。

Compaq Armadaシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

以上で前準備は終わりです。ドライバのセットアップを開始してください。

上記について、ご不明な際はPCメーカーに確認するか、弊社のホームページ(<http://www.sanwa.co.jp/>)のFAQをご覧ください。

接続する前に必ずお読みください。(続き)

内蔵ポインティングデバイスの切り離し

< PS/2接続の場合 >

本製品添付のドライバは各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバをインストールしないでお使いください。各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
デバイスマネージャ マウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。

Compaq Armadaシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

その上、ノートパソコンなどの場合、内蔵のポインティングデバイス(タッチパッドなど)が動かないか確認してください。動かなければ前準備は終了です。ドライバのインストールを開始してください。

内蔵ポインティングデバイスが切り離されてない場合
各マシンによって設定方法が異なります。以下を参考にしてください。

NEC、富士通、シャープ、パナソニック製PCの場合
起動時にF2キーを押し、BIOSセットアップで内蔵タッチパッド(Internal PS/2 Mouse)をAutoあるいはDisableにしてください。

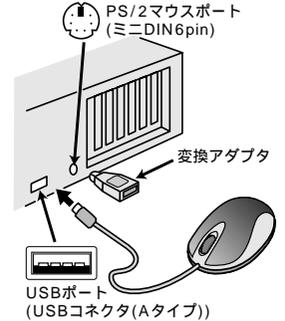
ソニーVAIOシリーズの場合
コントロールパネルのNotebook Setupにて内蔵ポインティングデバイスを使用しないにしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合
ThinkPadユーティリティでトラックポイントを切り離してください。

マウスの接続

本製品はUSBインターフェイス及びPS/2マウスインターフェイスに対応したコンピュータのマウスですので、接続には2通りの方法があります。

- ・ USBインターフェイスによる接続
 - 1.コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。
 - 2.本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- ・ PS/2マウスポートによる接続
 - 1.コンピュータの電源を切ってください。
 - 2.コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
 - 3.付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。
 - 4.コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。



詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコン(排他制御機能のないタイプ)及びNEC PC98-NXデスクトップパソコンなど(USBキーボードにPS/2マウスポートが付いているパソコン)には、USBポート接続により対応しています。マウスをパソコンに接続した際、またはパソコンを立ち上げた際、マウス裏面のLEDが3回発光しますので、その間はマウスを動かさないでください。

USBポート接続の場合

Windows Me等では、システム標準でUSBをサポートしデバイスドライバも組み込まれていますので、添付の8cmCD(Mouse Suite 2002)を使用してスクロール機能を追加します。

- ・ コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- ・ 本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。
- ・ 自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。
- ・ あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。
使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)
----- 次へ



検索方法を選択してください。
使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)
----- 次へ

マウスの接続 (続き)



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。チェックボックスにチェックマーク(✓)を入れずに ----- 次へ
もし検索場所を聞いてきたら
✓ 検索場所の設定(⬇)

C:¥WINDOWS¥INF

もしくは、C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS
Windows 2000の場合は検索場所を、C:¥WINNT¥INF
にしてください。

もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了

WindowsXP/2000では、上記インストール方法と画面等が異なります。

接続が完了したら、Mouse Suite(マウススイート)2002のインストールへ。

PS/2マウスポート接続の場合

コンピュータの電源を切ってください。
コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。

接続方法については6ページを参照してください。
コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。

接続が完了したら、Mouse Suite(マウススイート)2002のインストールへ。

ソフトウェアのインストール

Mouse Suite(マウススイート)2002のインストール

重要: マウスを接続し、カーソルが正常に動くことを確認してから、ドライバソフトをインストールしてください。インストール前に他のアプリケーション等を外しておいてください。

アドバイス: ソフトウェアをインストールしなくても、マウスの基本的なスクロールは使えます。もしハイパーグリッドなどMouse Suite 2002の特別な機能を使いたい場合は、ソフトウェアのインストールが必要になります。

Windowsを完全に起動させ、Mouse Suite2002をCD-ROMドライブに入れてください。

Mouse Suiteセットアッププログラムが自動的に立ち上がります。もし自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」「ファイル名を指定して実行」「D:¥Setup.exe」(DがCD-ROMドライブの場合)でセットアッププログラムを立ち上げてください。

あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Mouse Suite2002



ようこそ
Mouse Suite2002セットアッププログラムへようこそ。
このプログラムはMouse Suite2002をシステムにインストールします。
----- 次へ(N)



ハードインターフェイスの選択
PS/2(P)
シリアル(RS-232C)(S)
● USB(Universal Serial Bus)(U)
「USB」を選択して ----- 次へ(N)
(PS/2マウスポート接続の場合、PS/2(P)にチェックマークを入れてください。)

ソフトウェアのインストール (続き)



マウスの場所を選択
● キーボード右側(右利きユーザー)(R)
キーボード左側(左利きユーザー)(L)
----- 次へ(N)



インストールの開始
インストールの準備ができました
----- 次へ(N)

この段階でエラーメッセージが出ることがあります。
次のページを参考にしてください。



セットアップ完了
セットアップがMouse Suiteをインストールしました
----- 完了(E)

セットアップ中に下記のようなダイアログが表示されることがあります。「OK」をクリックしてください。

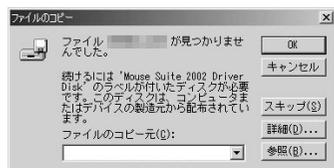


この場合「ファイルのコピー元」にインストールディスクのドライブ名を指定してください。

ソフトウェアのインストール (続き)

CDの場合は環境によって違います。
ドライバCDがDドライブの場合を例にあげています。
Dドライブ以外にCDが挿入されている場合は先頭の文字をそのドライブ名の先頭の文字に置き換えてください。

<Windows Me/98の場合> d:¥w98
<Windows XP/2000の場合> d:¥w2k
<Windows NT4.0の場合> d:¥nt4

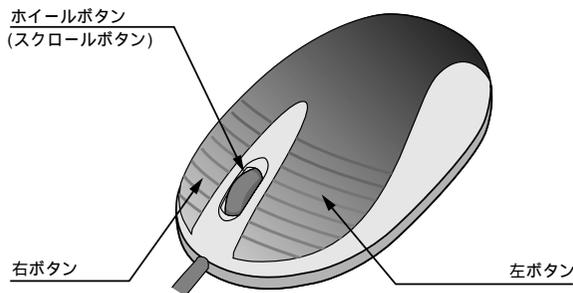


Windows 2002の場合、インストール作業中に警告メッセージがでる場合がありますが、インストール作業を継続していただいて問題ありません。
Windows 95 OSR 2.1等でご使用になりたい場合は、当社ホームページよりダウンロードしたMA-MBUS用ドライバVer2.10R3の中にある「setup.exe」ファイルを実行し、マウスドライバをインストールしてください。
(ただし、このドライバはMouse Suite 2002ではありませんので、本取扱説明書の内容とは異なります。)

マウスの使用方法

各部の名称

本製品には、ホイールコントロール(ホイールが回転し、スクロールなどの操作が行えます。またボタン機能としての設定をすることも可能です。)機能が付き、マウスで直接スクロールができますので、Windows上でマウス操作をより楽におこなえます。(スクロール、オートスクロール、クイックスクロール)
本製品は、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS Office 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、ズーム、データズームなど)が行えます。



10

マウスの使用方法 (続き)

左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また、右ボタンはWindows 98/95でのアプリケーションごとに設定されているマウスの働きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。
左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中の「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

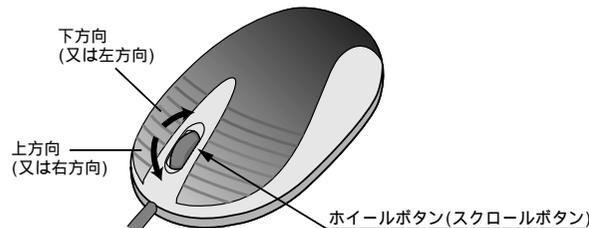
ホイールボタン

ホイールボタンは、「Windows 95キーボードファンクション」として割り当てられることもできます。割り当てられるのは「ウィンドウの最小化/最大化」「ウィンドウを閉じる」「スタートボタン」「ダブルクリック」「ドラッグロック」「ページアップ/ダウン」「次のウィンドウ」などです。

ホイールボタン(スクロールボタン)の使用方法

スクロール

スクロールとはウィンドウ内を上下、左右へと移動させることをいい、通常水平スクロールバーと、垂直スクロールバーをクリックすることでスクロールが可能になります。本製品ではホイールを回転させることでスクロールができます。カーソルをスクロールバー内の位置に持っていき、ホイールを回転させてください。
この時のスクロールの方向が水平方向であるか垂直方向であるかは、スクロールバー上にあるカーソルの位置によってマウスが自動的に判断してくれます。初期設定では、ホイールをモニタ方向に回転させると、上または右方向(スクロールバー上のカーソルの位置による)にスクロールされます。手前方向に回転させると、下または左方向にスクロールされます。この方向の変更は、「ホイールタブ」の中の「設定」で「スクロール方向の逆転」をクリックすると可能です。



11

ホイールボタン(スクロールボタン)の使用方法 (続き)

クイックスクロール

クイックスクロールは初期設定で既に設定されています。この機能で、ページごとまたは1行ごとのスクロールが簡単に行えます。ホイールボタンを押したまま、マウスをずらすとスクロールできます。

オートスクロール

これは、初めに少しスクロールするだけで、後は自動的にスクロールを続けてくれるという機能です。例えば、ホイールボタンを押し、マウスを手前に動かして少しスクロールするとそのままずっとスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Zoom in」で倍率が上がります。「Zoom out」で倍率が下がります。また、コントロールキーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

データのズーム

データについてのズームもMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。

この機能で、ウィンドウ内のズームの調整ができます。「Shift」キーを押しながらホイールボタンを回転させると、データのズームができます。
また、アプリケーションによってはデータのズーム機能は多少異なります。例えば、Internet Explorerではハイパーリンクによるジャンプや元の画面に戻ることができたり、Microsoft Wordではヘッダーやテキストのアウトラインを拡大、縮小することができたりします。

12

Mouse Suite 2002のコントロールパネル

Mouse Suite 2002をインストール後、Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン  をダブルクリックすると、Mouse Suite 2002の初期画面が表示されますので、オプトプログラマブルを選択してください。



接続されたマウスである、ワイザードを必ず選択してください。間違えたマウスを選択すると、マウスコントロールパネルの絵が実際と異なり、再インストールが必要となります。(マウスの絵が異なるのみで、動作上問題ありません。)

Mouse Suite 2002のマウスコントロールパネルにより色々な機能が使用できるようになります。



マウスコントロールパネルを立上げる場合、下記に従ってください。

Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン  をダブルクリックしてください。または、Windowsのスタートボタンを左クリックし、設定 (S) の中のコントロールパネル (C) を選択してください。コントロールパネルの中のマウスアイコンを選択してください。

マウスプロパティのタブ

Mouse Suite 2002は、マウスプロパティで使用したいタブをクリックすると、色々な機能を使う事ができます。

「ボタン」の設定ボタンページを開くとマウスボタンの機能のカスタマイズができます。初期設定は以下で説明しています。



左ボタン：第一マウスボタン
右ボタン：コンテキストメニュー
ホイールボタン：クイック/オートスクロール
マウスの設定を変えたい場合、下記に従ってください。

メニューの中にあるボタンをクリックしてください。または、「ボタン(B)」リストの中からボタンを選択してください。選択したボタンがボタンリストとマウスアイコンの中に出ます。そして、「機能(F)」リストからボタンの機能を選んでください。(最低一つのボタンをメインマウスボタン(第一マウスボタン)の設定にしてください。)
マウスボタンの機能を初期設定に戻したい場合、「デフォルト値を使用(D)」をクリックしてください。

ボタンの設定を確定する場合、「適用(A)」をクリックしてください。

拡大鏡

マウスボタンを拡大機能として選択すると、クリックするだけでカーソルの周辺が拡大されます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。そして、拡大機能を可能にするため、ファンクションリストの中から「拡大鏡」を選択してください。「設定(S)」の機能が拡大のサイズを調節することができます。最後に「適用(A)」をクリックしてください。拡大機能がマウスのクリックで実行可能になります。

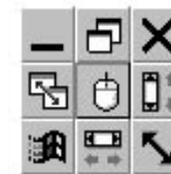
マウスプロパティのタブ (続き)

ハイパーリンク

マウスボタンをハイパーリンクとして選択すると、クリックするだけでアプリケーションまたはドキュメントを簡単に開くことができます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。ファンクションリストに入っていないドキュメントまたはアプリケーションを選択したい場合、ファンクションリストの中から「ハイパーリンク」を選択してください。次に、「設定(S)」をクリックしてください。「参照(B)」をクリックし、適切な登録したいアプリケーションを選んでください。選択した機能を確定する際は、「OK」をクリックして最後に「適用(A)」をクリックしてください。ハイパーリンク機能がマウスのクリックで実行可能になります。

ハイパーグリッド



ハイパーグリッドには9つのWindows機能があります。この9つの機能は1つの画面上で選択できるので1クリックで簡単に使用できます。

上記の手順と同じように、いずれかのマウスボタンをハイパーグリッド機能として選択してください。ハイパーグリッドの使用の際は、ハイパーグリッド機能を割り当てたマウスボタンを押しっぱなしにしておくのとグリッドが現れますので、ボタンを押しのまま選択したいアイコンまでカーソルを移動させボタンを放してください。

その他の機能

ボタン割り付け機能の一覧

後退
ウィンドウを閉じる
コントロールパネル
コピー (Ctrl+C)
コンテキストメニュー
切り取り (Ctrl+X)
ダブルクリック
ドラッグロック
Enter
Esc
F1~F12
ウィンドウの最大化
マウスの中央ボタン
ウィンドウの最小化
マイコンピュータ
ハイパーグリッド

次のウィンドウ
ページを下へ
ページを上へ
貼り付け (Ctrl+V)
第一マウスボタン
プリンタ
クイック/オートスクロール
ごみ箱
Ctrl+A
ウィンドウを元のサイズに戻す
スタートボタン
インターネット
元に戻す (Ctrl+Z)
エクスプローラー
Shift
Alt
Ctrl
ハイパーリンク
拡大鏡

ダブルクリック

ダブルクリックの機能で、アプリケーション上でのダブルクリックに対する反応の速さを調節することができます。



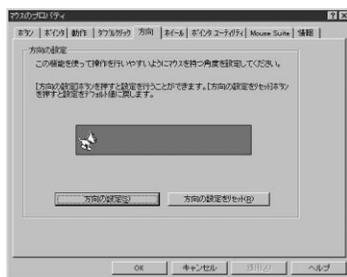
ダブルクリックの速度を調節する場合、ダブルクリックの速度(D)内のスライダーをクリックアンドドラッグで左右に移動させてください。左側に移動させると速度は遅くなり、右側に移動させると速くなります。マウス操作に慣れていない方は、バーを左側に移動させると、ダブルクリックの速度は遅くなるので、使い易くなります。

「デフォルト値に戻す(R)」をダブルクリックするとスピードの設定をリセットすることができます。

ダブルクリックの速度を試したい場合は、テストエリアにあるアイコンをダブルクリックしてください。確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

方向

この機能で、一番使い易いマウスのポジションを設定することができます。



「方向の設定(S)」をクリックするとマウスの位置の設定画面が出てくるので、これに従ってください。

位置の設定を初期設定の戻す場合は「方向の設定をリセット(R)」をクリックしてください。

確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

ホイール

ホイールの設定で、スクロールとホイールのボタンの設定ができます。



ホイール (W)

Mouse Suite 2002は、Microsoft Intellimouseと互換性があります。Intellimouseのエミュレーションを選択すると、ホイールのスクロール機能はMicrosoft Office 97と互換性のあるアプリケーションのみ使用できるようになります。

Microsoft Intellimouseのエミュレーションのみを使用したい場合は、「Microsoft Office 97 スクロールエミュレーションのみを使用(M)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

Mouse Suite 2002には「ユニバーサルスクロール機能」があり、ほとんどのアプリケーションのスクロールバーに使用できます。

(例：WordPerfect 97, Netscape Navigator 3.0, Microsoft Office 95)しかし、ユニバーサルスクロール機能を選択している場合、マウスはIntellimouseの拡大・縮小機能が使えなくなります。この機能を使いたい場合は、「例外(X)」ボタンを選択し、Intellimouseモードで使用したいアプリケーションを指定してください。

「ユニバーサルスクロール機能」を使用可能にする場合は、ホイールの中にある「ユニバーサルスクロールを使用(E)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

拡大・縮小機能を使用可能にしたいアプリケーションを指定するために、ホイールにある「例外(X)」ボタンを選択してください。次に「追加(A)」ボタンをクリックしてください。そして、指定したいアプリケーション名をプログラムパスに入力してください。「参照(B)」ボタンで追加するアプリケーションを選択することができます。確認は「OK」をクリックしてください。指定したアプリケーションを削除したい場合、「削除(R)」をクリックし「OK」で確定してください。

ホイール (続き)

ホイールボタン (B)

「ホイールボタン(B)」でマウスのホイールボタン機能の変更ができます。

「クイック/オートスクロールコントロール(Q)」を選択すると、クイックスクロール/オートスクロール機能が使えます。

スクロール/オートスクロール以外の機能をホイールボタンに割り付けたい場合は、「ボタン機能(U)」をクリックしボタンファンクションリストが表示されます。このリストの中から機能を選択し、「適用(A)」をクリックして確認してください。

ホイールボタン (C)

「スクロール速度(C)」でホイールボタンのスクロールスピードの調節ができます。

「スクロール(Q) ライン/ノッチ」を選択し、1行から20行までのスクロールの幅の調節ができます。矢印でスクロールの幅の調節を行ってください。

「1ノッチにつき1画面をスクロール(N)」を選択すると、スクロールは1画面ごとにスクロールされます。スクロールの方向を逆にしたい場合、「スクロール方向を逆転(V)」にチェックを入れてください。

ホイールの設定を確認する場合「適用(A)」をクリックしてください。

ポインタユーティリティ

ポインタユーティリティを開くと、ポインタラップ、ポインタを隠す、ソナー、スローモーション、X焦点、オートジャンプの機能を設定することができます。

ポインタユーティリティの機能及び画面はOSのタイプによって異なります。



ポインタユーティリティの機能を使用可能にするために、どこかにチェックを入れ「適用(A)」をクリックしてください。

ポインタラップ (W)

「ポインタラップ(W)」を使用可能にすると、ポインタを画面のはしに移動したとき自動的にカーソルが画面の反対側に現れます。

ポインタを隠す (V)

「ポインタを隠す(V)」を使用可能にすると、タイピング時カーソルが消えます。マウスを移動させると自動的に画面にカーソルが現れます。

ソナー (Q)

「ソナー(Q)」の機能で簡単にカーソルの位置が確認できます。Ctrlキーを押すと、ソナー機能が使用可能になります。この機能は他のCtrlキーの機能に干渉しません。

スローモーション (S)

Shiftキーを押せばなしにすると、カーソルを一時的にゆっくり移動させることができます。この機能は他のShiftキーの機能と干渉しません。

X焦点 (X)

タイトルバーにカーソルを移動すると、そのウィンドウをアクティブにすることができます。ウィンドウを切り替えるとき、クリック無しで行えるので大変便利です。

オートジャンプ (J)

「オートジャンプ(J)」を選択すると、ダイアログボックスを開いたとき、カーソルが自動的にデフォルトボタンに移動します。

Mouse Suite 2002

Mouse Suite 2002のページは、色々なオンライン製品サポートのリンクまたはアンインストールとタスクバーマウスアイコン機能があります。



オンライン製品サポート

お問い合わせは弊社Webサイトより「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」のリンクをたどり、問い合わせフォームに必要事項を記入して送信してください。

Mouse Suite のアップデートドライバをダウンロードする場合、弊社Webサイトに行き、ダウンロードできます。

アンインストールユーティリティ (U)

Mouse Suite 2002をアンインストールする場合、「アンインストール(U)」ボタンをクリックし、画面に出てくる指示に従ってください。

マウスアイコンをタスクバー上に表示 (S)

Mouse Suite 2002のアイコンをWindowsタスクバーに追加したい場合、「マウスアイコンをタスクバー上に表示(S)」にチェックマークし、「適用(A)」をクリックしてください。

テクニカルサポート

Mouse Suite 2002インストールが上手くできない場合、テクニカルサポートスタッフまでご連絡ください。問題解決に万全を尽くします。

ホームページ: <http://www.sanwa.co.jp/>

Mouse Suite 2002のマウスコントロールパネルに入っています。

お問い合わせは弊社Webサイトからが便利です。「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」よりサポートフォームに入力してください。

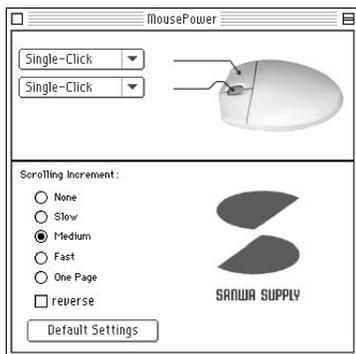


Mouse Power(マウスパワー)のコントロールパネル(Mac OS用)

「コントロールパネル」内のMouse Powerを立ち上げると、Mouse Powerの設定画面が立ち上がります。

Mouse Powerのコントロールパネルでは以下の機能の設定ができます。

unassigned	未設定...ボタンを押しても無反応になります。
Close Window	ウィンドウを閉じる...アクティブになっているウィンドウを閉じます。
Close App	アプリケーション終了 ...アクティブになっているアプリケーションを終了させます。
Copy	コピー
Paste	ペースト
Cut	カット
Single-Click	シングルクリック
Double-Click	ダブルクリック
AutoScroll	自動スクロール
Click Lock	クリック固定...マウスボタンを押しっぱなしにした状態にします。
Control Click	コントロール+クリック ...コンテキストメニューを簡単に利用できます。



Scroll Increment スクロールの加速度

None なし
Slow 遅く
Medium 普通
Fast 速く
1page 1ページごとに

reverse 逆方向へ

Default setting 初期設定値に戻します。